

令和7年度 第1回拡大理事会議事録

期 日：令和7年12月6日（土）16：00～18：10

会 場：コミュニケーションギャラリーLiRiO（ハイブリッド）

出席者：及川龍彦 佐藤英雄 武田浩二 三浦正徳 関 公輔 藤井祐輔
野中一成 及川 哲 佐藤晋樹 小林太志 久野純治 澤口裕樹
藤岡 求 菊池賢汰 (理事)
長野由紀江 池田 匠 (事務部)
菊池 渉 佐々木涼太 (事業調整部)
萱場俊博 中村一葉 廣田美智子 及川真人 荒川博志 四日市綾香
小野寺一也 佐々木成大 (職能部)
君野綾子 袖林龍太郎 金澤啓太 齋藤唯衣 首藤大樹 田上航平
菊池 圭 (地域支援・保健活動系事業部)
小澤 斉 小林和浩 佐藤弘樹 外川 諒 (学術・教育系事業部)
叶 朋洋 高橋研介 千田拓矢 山本喜文 (支部長)
伊藤 満 明内康彦 (委員長)

欠 席：佐藤一浩（監事・公務の為）

※理事・監事のみ記載

書 記：菊池賢汰

報告事項

- 1, 会長行動報告（及川龍彦）
- 2, 部門代表理事業務報告（佐藤英雄・武田浩二・三浦正徳・関公輔・藤井祐輔・菊池賢汰）
- 3, 東北ブロック協議会理事会報告（及川龍彦）
- 4, 厚生労働大臣表彰者報告（菊池賢汰）
- 5, 協会関連事業派遣報告（菊池賢汰）
- 6, 研修派遣報告（菊池賢汰）
- 7, 士会承認セミナー・症例検討会報告（菊池賢汰）
- 8, 会員異動状況報告（菊池賢汰）
- 9, 新入会員報告（菊池賢汰）
- 10, 事務部業務報告（菊池賢汰）
- 11, 各種派遣報告（武田浩二）
- 12, 協賛・後援事業報告（武田浩二）
- 13, 運動教室開催報告（野中一成）
- 14, 第44回一関国際ハーフマラソン大会スタッフ派遣事業（及川哲）
- 15, 第78回秋季東北地区高等学校野球大会メディカルサポート事業（及川哲）

- 16, 令和7年度岩手県高野連普及振興事業スタッフ派遣（及川哲）
- 17, 令和7年度パラスポーツ支援係研修会（及川哲）
- 18, ウィメンズ・メンズヘルス研修会開催報告（澤口裕樹）
- 19, 産業保健支援係研修会（澤口裕樹）
- 20, 調査活動課調査事業報告（久野純治）
- 21, 臨床研究支援セミナー修了（久野純治）
- 22, 学術誌後任人事（久野純治）
- 23, 新人教育支援係構成員追加（藤井祐輔）
- 24, 生涯学習後期研修開催報告（藤井祐輔）
- 25, シルリハ支援事業開催報告（関公輔）
- 26, 臨床実習指導者講習会開催報告（関公輔）
- 27, 令和7年度訪問リハ実務者研修会報告（野中一成）
- 28, 岩手県リハビリテーション専門職協議会報告（及川龍彦）
- 29, 訪問リハビリテーション振興財団支援報告（及川龍彦）
- 30, 政治活動報告（及川龍彦）
- 31, 第2回岩手県理学療法士連盟研修会開催報告（及川龍彦）

協議事項

第1号議案「組織強化部人事」承認の件

関部長より、組織強化部の人員配置と管理者、担当理事の構成案を作成したため、審議の上、承認をいただきたい旨が説明された。提案された人事は以下の通り。

組織強化部長：関 公輔

会員間連携推進・支援課長：佐藤 晋樹理事（継続）

広報課長：佐藤 晋樹理事（継続）

人材育成・推進支援課長：関 公輔（新任）

職能人材育成係：担当 藤岡 求理事（新任配置）

職能人材育成係長：及川 真人（継続）

シルリハ事業推進・人材育成係：担当 三浦 正徳理事（新任配置）

シルリハ事業推進・人材育成係長：廣田 美智子（継続）

臨床実習指導者講習会支援係：担当 関 公輔（新任配置）

臨床実習指導者講習会支援係長：中村 一葉（継続）

管理人材育成推進・支援係：担当 関 公輔（新任配置）

管理人材育成推進・支援係長：萱場 俊博（継続）

なお、これまでは人材育成・推進支援課下の4つの係を吉田裕也前理事が担当していたことから、今回配属となった三浦，関，藤岡の3名がそれぞれ担当理事として対応する旨が説明された。以上の提案に対して、質問・意見等なく、全会一致で承認された。

第2号議案「教育推進・支援課課長（案）及び新人教育支援係係長（案）」承認の件

藤井部長より、学術・教育系事業部部長に就任したことに伴い、教育推進・支援課課長及び新人教育推進係係長の新任について承認いただきたい旨が説明された。これに対して及川会長より、規程上は課長の選任までが理事会決議事項であるため、これに伴う係長の選任として協議を進める旨が補足された。提案された人事は以下の通り。

教育推進・支援課 課長：藤岡 求氏（現新人教育推進係係長）

新人教育推進係 係長：千葉大佑氏（現新人教育推進係構成員）

以上の提案に対して、質問・意見等なく、全会一致で承認された。

第3号議案「令和8年度事業計画（案）」承認の件

第4号議案「令和8年度収支予算（案）」承認の件

及川会長より、第3・4号議案は一括審議とする旨が説明された。これまで、概算要求を行なった後に財務課で各所管の配分を決定・通知、それをもって事業計画と予算編成を検討する流れで進めてきたが、今回は配分予算の指定がないままに予算が提出された旨が説明された。このような経過に対する措置として、各所管より集められた次年度事業概要をもとに次年度事業計画ならびに収支予算を作成したことから審議の上、承認いただきたい旨が説明された。続いて、各部長より現時点で立案している次年度事業計画が説明された。要点は以下の通り。

1, 事務部 (菊池部長)

(1) 総務課

- 災害対応調整事業 (公益)
- 理学療法相談対応事業 (公益)
- 年間スケジュール公開事業 (共益)
- 各種相談事業 (共益)
- 令和8年度組織運営協議会開催事業 (法人)
- 令和8年度協賛企業懇談会開催事業 (法人)
- 名誉会長・相談役との懇談会開催事業 (法人)
- 入会オリエンテーション開催事業 (法人)
- 令和8年度新人歓迎会開催事業 (共益)
- 受付刊行物デジタル化保存事業 (法人)

(2) 財務課

- 支部活動支援事業 (共益)
- 岩手県リハビリテーション専門職協議会支援事業 (法人)
- 東北ブロック協議会支援事業 (法人)

(3) 広報課

- 理学療法の日関連事業 (公益) (名称変更)
- ホームページ管理・運営事業 [統合] (法人)
- 公式LINEアカウント管理・運営事業 [新規] (法人)

(4) 福利厚生課

- 岩手県理学療法士会ニュース発行事業 (共益)

2, 事業調整部 (三浦部長)

(1) 事業調整課

- 士会事業の効果的, 効率的実施支援事業 (法人)

(2) 会員人材登録管理課

- 会員人材調査把握事業 (法人)
- 会員人材登録 (人財バンク) 事業 (法人)
- 会員における士会活動参画推進事業 (法人)

(3) 渉外課

- 収益事業獲得のための情報等調査・把握事業 (法人)

(4) ポイント管理課

- 効率的な生涯学習ポイント取得支援のための領域使用状況把握・発信事業 (共益)

3, 地域支援・保健活動系事業部（武田部長）

（1）地域包括ケア推進課

地域支援活動事業（公益）

運動教室開催事業（公益）

（2）保健活動推進課

産業保健活動報告研修会開催事業〔名称変更〕（公益）

産業保健活動協力事業〔新規〕（公益）

産後の母親向けセルフケア教室開催事業（公益）

（3）スポーツ支援課

スポーツ支援事業部研修会開催事業（公益）

高等学校野球岩手県大会メディカルサポート事業（公益）

岩手県高等学校野球連盟主催メディカルサポート事業講師派遣事業〔名称変更〕（公益）

パラスポーツ指導者資格取得状況調査事業〔新規〕（法人）

一関国際ハーフマラソンコンディショニングサポートスタッフ派遣事業（公益）

奥州きらめきマラソンメディカルスタッフ派遣事業〔新規〕（公益）

4, 学術・教育系事業部（藤井部長）

（1）生涯学習制度支援課

生涯学習制度支援活動「生涯学習支援ブース」設置事業〔内容調整〕（公益）

（2）学術活動支援課

岩手理学療法学第18巻発刊事業（公益）

研究に関する人材育成事業〔名称変更〕（公益）

（3）学術大会支援課

第26回岩手県理学療法学術大会開催事業（公益）

（4）教育推進・支援課

理学療法標準化研修会開催事業〔統合〕（公益）

リハビリテーション技術講習会開催事業〔統合〕（公益）

理学療法士講習会（応用編）呼吸基礎講座開催事業〔名称変更〕（公益）

生涯学習前期研修事業〔統合〕（公益）

生涯学習後期研修事業〔統合〕（公益）

新人期領域別症例検討会事業（公益）

支部症例検討会事業（公益）

5, 職能部 (佐藤部長)

障がい児・者リハビリテーション支援事業 [新規] (公益)

(1) 調査活動課

職能推進のための情報収集事業 (法人)

県内理学療法に関する調査事業 [名称変更] (法人)

(2) 制度対策課

制度対策関連事業

報酬制度に関する情報共有事業 [新規] (公益)

(3) 職能推進課

職能推進事業 [名称変更] (公益)

政策課題取りまとめ事業 (法人)

少数会員施設支援ニーズ把握事業 (法人)

6, 組織強化部 (関部長)

(1) 人材育成・推進支援課

マネジメント関連テーマ別WEB研修会開催事業 (公益)

指定管理者フォローアップ研修開催事業 (公益)

指定管理者研修会 (初級) (公益)

臨床実習指導者講習会支援事業 (公益)

シルリハフォローアップのための人材育成・人材派遣事業 (公益)

学校保健に関わるための研修事業 (公益)

障害福祉に関わるネットワークづくり事業 (公益)

(2) 広聴課

広聴事業 (法人)

(3) 会員間連携推進・支援課

支部長懇談会開催事業 (法人)

各支部の個別相談開催事業 (法人)

病期連携研修会開催事業 (法人)

7, 支部

支部内ネットワーク推進事業 (法人)

支部間ネットワーク推進事業 (法人)

支部独自イベント推進事業 (公益)

8, 委員会

(1) 災害時支援対策委員会

災害時被災地支援助言事業（公益）

災害マニュアル改訂事業（法人）

(2) 推進リーダー委員会

地域包括ケア・介護予防推進リーダー育成事業（共益）

9, 常設委員会

表彰委員会

10, 特別委員会

第 26 回岩手県理学療法学会大会準備委員会

及川会長より、配布資料に反映されている事業名は概算要求時に提出されたものであることから、第 2 回拡大理事会までに詳細を確定させるよう指示された。併せて、事業が挙げられていない委員会について、事業項目を挙げるよう指示された。続いて、及川会長より令和 8 年度事業方針（案）について説明された。要点は以下の通り。

- 1, 県内で発生している問題へのサービス充足を目指した事業
- 2, 登録理学療法士更新に向けた会員サポート事業
- 3, 職能推進に向けた会員サポート事業
- 4, 会員活動とプライベートの充実を平行するための対応模索
- 5, 複数年度における計画的事業展開

続いて、菊池事務部長より令和 8 年度収支予算について以下の通り説明された。

1, 事業活動収入

会費収入	13,230,000 円
事業収入	830,000 円
補助金等収入	2,020,000 円
寄付金	120,000 円
雑収入	500,000 円
事業活動収入計	16,700,000 円

2, 事業活動支出

事業費支出	8,150,000 円
管理費支出	7,830,000 円
事業活動支出計	15,980,000 円

事業活動収支差額	720,000 円
当期収支差額	69,500 円
前期繰越収支差額	18,740,013 円
次期繰越収支差額	18,809,513 円

及川会長より、現状では収支差額がほとんどない状態であり、各委員会、支部へ予算をつけられないこと、加えて協会や県内の動向に合わせて事業を追加する必要性があることから、各部に対してこれまでの実績をもとに予算を再検討するよう指示された。これらの説明に対して、以下の通り質疑がなされた。

- ・令和8年度事業方針に記載されている「1, 県内で発生している問題へのサービス充足を目指した事業」について、会員から問題が発生していると誤解、及び心配を生むことが想定される。記載方法を修正してはどうか。
→その通り。次回までに修正したい。(及川会長)
- ・会員人材登録管理課において、人材バンクの登録はどの程度進んでいるか。学術・教育系事業部の事業内で、今後人材紹介をお願いしたいと考えている。
→現在、担当課長を中心に登録を進めている段階である。進捗があり次第、共有したい。
→個人が持っている資格等のデータベース化や、事業実施の際に適任者を探しやすくなるよう整理をお願いしたい。(及川会長)
→人材登録の難しさについては、東北ブロック協議会でも度々話題に上がっている。個人の自己研鑽については、協会システムでは出力されない。担当課だけでなく、各部で連携しながらデータベース化を進める必要があるのではないか。
- ・資料の中に、支部費が反映されていないのはなぜか。
→概算要求時に支部費の請求がなかったため、資料に反映できていない。(及川会長)

続いて、及川会長より各部長に対して、下記の通り要請がなされた。なお、事業反映検討項目については次回理事会時に事業計画に反映してほしい項目、実務要請は事業計画には反映しない範囲の労務であるが実行してほしい内容、実務対応検討については将来的に実行に向けて検討してほしい項目、方針検討については今後の実行可能性についての検討を行ってほしい項目であることが説明された。

○事務部

実務要請

- ・岩手県理学療法学会大会長印作成

実務対応検討

- ・ホームページバナー有料化検討
- ・会費引き下げに関する試算

方針検討

- ・講師派遣有料化に関する検討

○事業調整部

実務要請

- ・(協) 産業保健・人間工学・母子保健推進リーダー制度対応検討

方針検討

- ・在宅療養者支援窓口の対応・設置
- ・発達障害・在宅小児支援に資する研修
- ・生涯学習履修率低下に関するアンケート調査
- ・モデル新人教育プログラム作成
- ・会員のプライベートと会員活動の両立に向けた検討

○組織強化部

事業反映検討

- ・支部説明会開催検討
- ・(協) 協会指定管理者研修制度変更に対する検討

実務要請

- ・一関地域非会員増加に関する調査と対応
- ・入会率低下・退会率増加抑制に関する検討

実務対応検討

- ・(協) 臨床実習指導者講習会運営に関する検討

方針検討

- ・退職者活躍の場に関する原案作成

○職能部

方針検討

- ・へき地支援に関する模索
- ・助成金活用事業に関する模索

○学術・教育系事業部

事業反映検討

- ・実技研修の重視

実務対応検討

- ・有料コンテンツと本会研修会に関する検証

方針検討

- ・人気研修会の本会研修取り込み

これらの要請に対して、以下の通り質疑がなされた。

- ・へき地支援に関しては、渉外課で調査し、地域支援・保健活動系事業部と職能部で連携する方針が良いと考える。
- ・かねてより話題にあがっている倫理委員会の件は検討する必要性はないか。研究活動支援系の事業内では、自施設に倫理委員会がないため士会に対応して欲しいといった要望も聞かれる。今後の方針も含めて検討する必要性があるのではないか。
 - 検討を進めている段階であった。これを機に、項目としてあげた上で検討を進めることも重要と考える。この点について、先の依頼に加えて事業調整部で検討をお願いしたい（及川会長）
 - 倫理審査を通過しないと学会発表、論文投稿ができないという現状もある。実際に士会に対応している県もあるが、会員数 5,000 名程に対して相談件数が 1 件という状況のようである。その点も含めて、慎重に検討を進めてはどうか。

以上の質疑を含め、及川会長より第 2 回拡大理事会に向けて、事業計画の詳細と予算について検討を進めるよう指示がなされた。本議案については、継続審議となった。

第 5 号議案「令和 7 年度組織運営協議会プログラム」承認の件

菊池事務部長より、令和 8 年 1 月 17 日に開催される組織運営協議会の概要を作成したため精査の上、承認いただきたい旨が説明された。要点は以下の通り。

1、開催概要

日時 令和 8 年 1 月 17 日（土）14:00～17:30

会場 アートホテル盛岡

2, タイムテーブル

	鳳凰の間	別会場
1400	開会 ・代表挨拶 ・協会長挨拶	
1410	管理者会議 ・事業計画 ・予算案 ・意見交換会	
1515	表彰式・次期大会長挨拶	
1530	休憩	
1540	管理者研修会	名誉会長・相談役との意見交換会
1640	調査活動課報告	
1700	閉会	協賛企業説明会
1720	散会	
1800	令和8年度新年会	

3, 管理者研修会講師（案）

「生涯学習の現状, 推進のために必要なこと（仮）」

日本理学療法士協会 副会長 湯元 均 氏

以上の説明について, 質問・意見等なく, 全会一致で承認された。

第6号議案「創立60周年記念事業開催」承認の件

及川会長より, 令和7年3月に開催された令和6年度第4回臨時理事会の承認事項をもとに「60周年記念事業検討会」に諮問した経緯が説明された。これについて, 本年9月に同委員会から式典・祝賀会・記念誌作成を含む記念事業実施について答申されたため, 記念事業の実施に関して検討の上, 承認いただきたい旨が説明された。諮問, 答申の内容は以下の通り。

○諮問

- 1) 本会創立60周年記念事業の要否
- 2) 本会創立60周年記念事業の必要性が認められた場合, この事業を行う意義
- 3) 同上, 事業の内容

○答申

- 1) 60周年記念事業を開催する。
- 2) 岩手県理学療法士会は発足から60周年を迎え, 現在の会員数は1,000名を超える団

体にある。本会のこれまでの歩みを振り返り、現在の会員の結束力を確認するとともに、今後の発展に向けて外部へ発信する機会とする。また、60周年の歴史を記録として後世に残す機会として事業を開催する意義は大きいと判断する。

3) 式典や記念祝賀会を含むイベント開催事業。

また、参考として盛岡グランドホテルへ見積りを依頼した結果、式典・祝賀会を含め総費用250万円、参加費収入が含まれることにより本会支出は50万円程度で実施可能と判明した旨が説明された（今後物価の影響を受ける可能性あり）。これらの説明に対して、以下の通り質疑がなされた。

・他にも見積りをとる予定はあるか。

→今回の見積りは、答申内容で実施可能かを検証するための参考資料として依頼したものである。今後詳細を検討する過程で、他会場の検討も必要と考えている。

（及川会長）

上記をもとに、答申結果に対する承認が求められ、全会一致で承認された。

第7号議案「定款変更（案）」承認の件

及川会長より、10月23日に開催された第3回臨時理事会にて方針が承認された「理事定数の変更」に関連し、定款変更案を作成した旨が説明された。また今回の定款変更に合わせて、文言修正の変更を行ったため審議の上、承認いただきたい旨が説明された。なお、先に行われた組織改編につき、本年5月2日開催の第1回定期理事会において定款に合わせた組織の微修正を行い、定款変更も視野に入れつつ、組織図を現状で運営することとしており、この件をもとに定款内の「事務局」についても変更の模索を行なった。これについて多田監事より、一般的に事務部門に関する定款表記は「事務局」となされており、厳密には別な文言を使用することは事務業務を担当する部門に解釈の語弊が生じる可能性があるという説明があった旨が説明された。ついでに、定款上の「事務局」の文言を変更することはせず、また、現状組織図において大きな問題が生じていないことを鑑み、当面は現状組織図での会務運営を進める事に賛同を頂きたい旨が説明された。提案内容は以下の通り。

第2章 会員

(会費)

第8条

2 賛助会員は → 協賛会員は

(退会)

第10条 正会員及び賛助会員は → 正会員及び協賛会員は

第3章 役員

(種類及び定数)

第13条 本会に、次の役員を置く。

(1) 理事 14名以上17名以内 → 14名以上23名以内

以上の提案について、質問・意見等なく、全会一致で承認された。

第8号議案「期間目標」承認の件

及川会長より、10月23日に開催された第3回臨時理事会において各理事より意見を頂き、それを反映させることで一旦の確定とすることとしていたが、原案の修正過程において、会員に対して直接的かつ短期的に示す事が可能な目標が欠けていることが判明した旨が説明された。その他、①日常業務のやりにくさ、感じ方、②会員である事の身分保障、③施設における理学療法士の立ち位置を踏まえた職能団体としての取り組みやステータスを示す必要があるのではないかとの意見や、女性理事配置の数値目標に対する意見などが挙げられ、再度の検討を進める必要性が考えられた事から本件については一旦の終了をみたものの再度検討を行いたい旨が説明された。なお、上記の意見の他にも①行政主体会議への理学療法士のさらなる参画、②関連団体合同学術大会開催などの意見も挙がっていることから、項目の整理を含めて審議を進めるとともに、本件については事前に理事への準備をお願いしていることを踏まえ、意見をいただきたい旨が説明された。これらの説明に対して、以下の通り意見がなされた。

- ・本会の方針や協会の方針を踏まえると、登録理学療法士取得率について、期間目標内で言及する必要があるのではないか。
- ・本件については、本会の今後に関わる重要案件であると認識している。意見の強要はできないが、ぜひ積極的にあげていただけると良いのではないか。

以上の意見を踏まえつつ、他にも意見をいただきたいことをから、本議案については継続審議となった。